

H29A 3 一

自校採点結果による正答率(75.0)%

健一たちは

高島さんは、物語の下書きを読み返し、線部練習をがんばってきた。それをまでががんばってきた様子が読み手に伝わるように書き直すことにしました。次の□に当てはまる言葉をごんぱるといふ単語を使わずに十五字以内で書きなさい。

【正答例】

- ・今日まで練習を積み重ねてきた。
- ・毎日必死に練習してきた。
- ・懸命に歌ってきた。

【予想される誤答例】

- ・繰り返し練習が重ねられた。
- ・一生懸命に練習をがんばってきた。
- ・練習をしてきた。

【誤答の原因】

- ・「健一たちは」に適切に続くように書いていない。
- ・「がんばる」という単語を使って書いている。
- ・がんばってきた様子が読み手により伝わるように適切に書いていない。

【指導のポイント】

- 物語を創作する際には、事柄や心情など伝えたいことが的確に表現されているかどうかという観点から文章を読み返させる。
- 読み手の想像力が喚起されるような比喩表現や情景描写などの語句や描写と取り入れさせる。
- 他の人と交流することによって得られた意見や助言を自分の表現に役立てさせる。
- 別の言葉に書き換えたり、新しい言葉を書き加えたりすることで、伝わり方がどのように異なるかを確認するなど、具体的な表現を基にして考えさせる。

【出題の趣旨】

書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書くことができるかどうかをみる。

【過去の関連問題】

平成26年度全国学力・学習状況調査A 2 二
仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える。

H29A 9 五

自校採点結果による正答率(17.8)%

【話し合いの記録】

校内でのあいさつを活発にするための取り組み	
活動内容案	結果
1 標語やポスターの募集と掲示を行う。	可決
2 登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	□
3 下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。	否決

次は、校内であいさつを活発にするための取り組みについての話し合いの記録です。活動内容案の2については、今回は結論がでなかったのですが、あとでもう一度話し合うことになりました。□に当てはまる言葉を、漢字三字以内で書きなさい。

【正答例】

- ・再検討
- ・保留
- ・未決

【予想される誤答例】

- ・解決せず
- ・再会議
- ・予決

【誤答の原因】

- ・三字以内という条件を満たしていない。
- ・結論が出ていないという状況やあとでもう一度話し合うという状況を表す言葉を適切に書いていない。
- ・語句自体が適切でない。

【指導のポイント】

- 話し合いの場面で、結論が出ていないという状況や、あとでもう一度話し合うという状況を表す類義語を辞書等を活用して集めさせ、比較させる。
- 結果の欄に書かれてある「可決」や「否決」の語句の意味を考えさせる。
- 話し合いの記録として適切な言葉を具体的な場面から理解させる。

【出題の趣旨】

事象や行為などを表す多様な語句について理解しているかどうかをみる。

【過去の関連問題】
(新傾向)

H29B1三

○ 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

自校採点結果による
正答率(37.5)%

【問題】青山さんは、【本の紹介カード】にある「比喩を用いた表現」に着目して【本の一部】を読み、〈心に残った一文〉と〈感想〉を【読書の記録】に書いている。あなたならどのように書くか。

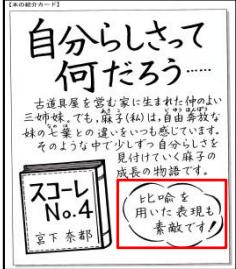
- 条件1 〈心に残った一文〉は【本の一部】から、比喩を用いた表現が含まれる一文を抜き出して書くこと。
- 条件2 〈感想〉は、条件1で取り上げた表現について、「誰(何)」の、「どのような」様子なのかを明確にした上で、あなたが感じたこと考えたことを具体的に書くこと。

【予想される誤答の原因】

- ・比喩表現に関する知識がない。
- ・一文の意味を理解できていない。
- ・「誰(何)」の「どのような」様子なのかを明確に書くことができない。
- ・考えたことや感じたことを具体的に書くことができない。(表現の工夫や効果について自分の考えを持つことができない。)

【正答例】

・七葉が自分の思いつきに興奮して目を輝かせている様子を表している、七葉がお皿を水に濡らすことに夢中になっている姿が想像できる。



【本文の一部】から比喩を用いた表現の一文の抜き出し(例)

- ・ぬるいお風呂に浸かっているところに熱いお湯をどんどん足してくみたくに、父からの熱がじかに私の肌に伝わってくる。
- ・遠い昔に生まれ、人の手を伝ってここまでたどりつき、やっとめぐりあえた品物が、ほんの一瞬、私に向かって心を開く
- ・中から、柳の葉の流れるような文様が息をのむほど美しい五寸皿が出てきた。
- ・興奮のあまり、黒い目が濡れたように光って怖いくらいだった。
- ・雨に濡れていく皿が、まるで生き物のようになまめかしく見えた。

授業場面で(本文の比喩表現を捉え、表現について自分の考えを具体的に書く授業)

他の人の発表を聞いて比喩表現のよさや比喩表現から感じたり考えたりしたことを書くポイントがわかりましたか。

比喩表現によって、イメージが広がったり、強く印象に残ったりすることがわかりました。

比喩表現だけに着目するのではなく、登場人物などの描写に着目すると、比喩表現から感じたことを書くことができました。

Point
文学作品における表現の効果を考えさせる際には、登場人物の描写や場面の展開などを踏まえて考えさせます。

心に残った比喩表現は、「興奮のあまり、黒い目が濡れたように光って怖いくらいだった。」です。七葉が興奮している様子を表している…

七葉は、どんな人物として描かれていますか。比喩表現の前後の文章にも着目しましょう。

七葉が自分の思いつきに興奮して目を輝かせている様子を表していると思います。七葉のお皿を水に濡らしたい気持ちを抑えられきれない姿が想像できます。

Point
想像したことを言葉で表現することができるようにするためには、比喩表現から、「誰(何)」の「どのような」様子が伝わってくるか、どんなことを感じたり、考えたりしたかを本文の内容と結び付けて考えさせます。

あなたが心に残った比喩表現が含まれる一文を抜き出しましょう。そして、その比喩表現は、誰(何)のどんな様子を表している、あなたはどんなことを感じたり考えたりしたのか具体的に書いてみましょう。

比喩表現にはどんなよさがあるのかな？

例えば、「船が進んでいる」と「船が散歩しているようだ」という表現を比較してみるとどのような違いを感じますか。

「船が散歩しているようだ」からは、船がのんびり進んでいる姿が想像できます。

Point
比喩表現に、興味、関心を持たせるために、比喩を含んだ表現と含んでいない表現を比較させます。

終末

展開

導入

めあて
スコア NO.4 に用いられている比喩表現のよさを探ろう

スコア NO.4 ナンバーフォー 宮下奈都

比喩
(例) 船が進んでいる。
船が散歩しているようだ。
船が、のんびり進んでいる様子

本の一部の比喩を用いた表現(例)
・興奮のあまり、黒い目が濡れたように光って怖いくらいだった。

誰のどのような様子

(例) 七葉が興奮して目を輝かせている様子

感じたことや考えたこと
(例) 七葉のお皿を水に濡らしたい気持ちを抑えることができない姿が想像できる。

本文との関連
・水に濡らしてみようよ、と言った。
・七葉は耳を貸さなかった。
など。

まとめ
比喩表現は、印象を強めたり、イメージを広げたりするよさがある。
比喩表現から感じたこと、考えたことを書くには、比喩表現に着目するだけでなく、登場人物の描写や場面の展開などを読み取る。